

☆聖書で祈る☆

ルカ 10：25～37 「善いサマリア人」

信仰からの奉仕

25:すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるのでしょうか。」26:イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、27:彼は答えた。『「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい」とあります。』28:イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

29:しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。30:イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。31:ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。32:同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。33:ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、34:近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。35:そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』36:さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」37:律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

マタイ 5：3～11 「幸い」 (本文省略)

信仰からの奉仕

マタイ 5：13～16 「地の塩、世の光」 (本文省略)

存在としての奉仕

マタイ 25：34～40 最も小さい者の一人にしたこと (本文省略)

信仰からの奉仕

1ペトロ 3：15～17 (本文省略)

信仰への奉仕

▽参考資料▽

『福音宣教』第70項

・・・信徒の独特にして主な役割は、教会共同体を設立したり、発展させることではありません。これは司牧者の任務です。信徒の任務は、キリスト者を宣教へと駆りたて、まだ隠されている福音宣教へのさまざまな可能性を見だし、行動に移すことです。信徒の宣教活動は、政治、社会、経済、文化、芸術、広報の分野から国際問題にいたる広範にして複雑な世界を含んでいます。さらに人間愛、家庭、幼児教育、青少年教育、職業、労働、苦悩の分野にもおよびます。